

ケアラー支援普及啓発事業 及び ケアラー支援Webページ作成事業 の進捗等について

栃木県 保健福祉部 保健福祉課 地域福祉担当

ケアラー支援普及啓発事業

普及啓発用ポスター (イメージ) ※制作中



ケアする人を ひとりにさせない 共生社会

「ケアラー」という言葉を聞いたことがありますか？

ケアラーとは、高齢、障害、疾病等の理由により援助を
必要とする家族、身近な人その他の人のことです。

ケアラーのうち18歳未満の人をヤングケアラーといいます。

ケアする人を孤立させないために、正しく理解することが大切です。

知ること、考えることから始めてみませんか？



令和5年4月 栃木県ケアラー支援条例施行

令和6年3月 栃木県ケアラー支援推進計画策定

全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく、
安心して生活することができる地域社会の実現を目指して

県民生活

● 栃木県公式ホームページ



<https://www.pref.tochigi.lg.jp>

● テキストサンプル。テキスト



<https://www.sample.sample.jp/sample.html>

● テキストサンプル。テキスト



<https://www.sample.sample.jp/sample.html>

知ろう、支え合える社会へ

栃木県ケアラー支援

検索

ケアラー支援特設Webサイト制作事業

サイトマップ

	階 層		
	1	2	3
1	00 トップページ		
2	01 ケアラーを知る		
3			ケアラーの概要説明
4			数字で見るケアラー
5			ケアラーが直面する課題
6			経験談
7	02 ケアラーの方へ		
8			相談までのステップ
9			相談窓口のご案内
10			ケアラーのためのお役立ち情報
11	03 自治体・支援団体・教育関係者の方へ		
12	04 新着情報、イベント情報等のお知らせ		
13			お知らせ詳細ページ
14	05 ケアラー支援にあたってのFAQ		

サイト画面（イメージ）※制作中

ケアラーはどんな人？

「ケアラー」とは、こころやからだに不調のある人の「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」などケアが必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする人のことです。



障がいのある子どもの子育てや障がいのある人の介護をしている。



健康不安を抱えながら高齢者が高齢者をケアしている。



仕事と病気の子供の看病でほかに何もできない。



仕事を辞めてひとりで親の介護をしている。



遠くに住む高齢の親が心配で頻繁に通っている。



目を離せない家族の見守りなどのケアをしている。

ヤングケアラーはどんな人？

「ヤングケアラー」とは、家族にケアを要する人がいる場合に大人が担うようなケア責任を引き受け家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことです。

※定義は(一社)日本ケアラー連盟から引用



障がいや病気のある家族に代わり買い物・料理・家事・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。

10 秒

15 秒

5 秒

内容

ケアラーの悩みを表す吹き出しを1つ表示

だんだんと吹き出しが増えていき
真ん中に「知っていますか？」のテロップ

背景が変わり
「ケアラー」を知っていますか？
のテロップのみが表示される

イラストで説明

※イラストはweb サイトと同じものです

イラストで説明

※イラストは web サイトと同じものです

ケアラーを説明する
複数のイラストを掲載

※イラストはweb サイトと同じものです

気づき、支え合える社会へ のテロップ

サイトロゴと
全てのケアラーが社会から孤立することなく
安心して生活することができる地域社会の実現を目指して
のテロップ

ナレーション案

ケアラーを知っていますか？

高齢者が高齢者のケアをしている

幼いきょうだいの世話をしている

ケアに必要な家族や友人・知人などを
無償でケアする人達のことです

気づき、支え合える社会へ